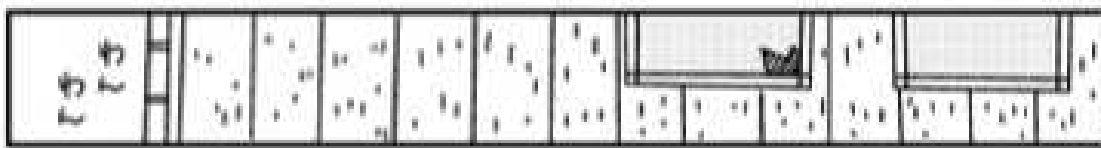
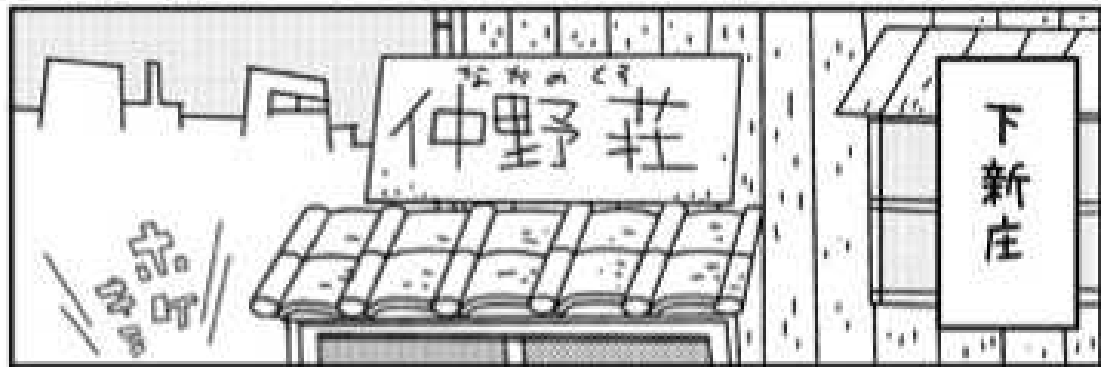


よき見の見物～デコ山凡師の一生～ / 作・タカモリケイ



「けれど其の
望みは散れ去
暗い空に消え
ました」

「昔の空は
青かった。は
昔の望みは
大きかった」

•今回に脳内いい線補正ツールを使用しております



この部屋の読大生の読書を誘って知った誘だ。まあ読書といっても読大生はザエルシューメンだ。読みはしないのだが。

どうせ、コック捨て場で拾ってきても、カップラーメンの裏にしたらだ。



今日はしなびたおでんやで

げっ
またか



この間は枕にされていた毛沢東遺言を読んだ。

今の前は「ポーン」って音で寝る事件」を読んだし



俺らの食生活は極めて貧相である



畢竟、文字通りの冷たい読みの僕の読書歴はデタラメになるのだ。

凡そ、
飯
や
タ
で
飯
ー





多すぎる子供達に
私はあまり愛着が
湧かなかった



夫、子供が
できた？



私、最近
あなたが
わから
ないわ

何故？



産間が
早すぎや
せいか

四コマ
だから
仕方な
いのよ



リアリズム
に傾倒して
いくから
かしら？

お前は
単純化
しすぎた



あまりにも
散文的に
すぎる

ナンは
コロンを
話して
わ



主体的な一
性不安がそれ
いう意味を
日本マホーン
(マホーン)

野郎解読者
のたうを
まはしめよう

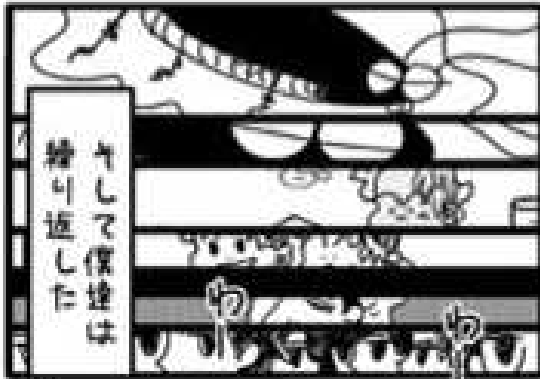


産まれ
たわ

わあっ







完